

5 部屋の外から警報音に気づいたときの処置のしかた

△危険

警報音が鳴っている間は、**部屋の外から、すぐに入室しないでください。**
●もれたガスの濃度が濃くなっている場合が考えられます。
●CO濃度が濃くなっていることがあり、短時間で生命に危険をおよぼす恐れがあります。
●火花などによる爆発やCO中毒の恐れがあります。

1 部屋に入らないでください。

2 ガスメーター近くのメーターガス栓を閉めてください。

メーターガス栓を開けるときは東邦ガスにご連絡ください。

3 ガスやCOがなくなれば、警報音が鳴りやみます。

4 部屋に入り、赤（ガス警報）ランプ・黄（CO警報）ランプの消灯を確認してください。

5 ガス栓や器具栓を閉めてください。

ガスコンセント接続の場合、ガスコンセントからソケットを外してください。

6 ガスもれやCO発生の原因を点検してください。

原因としては、煮こぼれ、ゴム管の外れ、ゴム管の亀裂、ガス機器の立ち消えなどが考えられます。

6 処置をしても、警報音が鳴りやまないときの処置のしかた

ガスくさい場合（緊急）へ連絡する

●ガスくさい場合(緊急)の連絡先

- ・24時間365日受け付けています。
- ・ご連絡の際は、お名前・ご住所・お電話番号、ガスくさい状況をお伝えください。

お住まいの地域	電話番号
愛知県	(052) 872-9238
岐阜県	(058) 272-0088
三重県	(059) 224-0225

おねがい

- たとたび警報音が鳴るときは、ガス機器の点検を受けてください。（有償）
- ガス機器以外の燃焼機器（石油ファンヒーター、石油ストーブなど）が原因で鳴ることもありますので、これらの機器についても点検を受けてください。

※警報器とマイコンメーターを接続している場合
警報音声か30秒～60秒間鳴り続けたとき、マイコンメーターがガスを止めます。
※警報器と戸外ブザーを接続している場合
警報音声か30秒～60秒間鳴り続けたとき、戸外ブザーが鳴ります。ガスがなくなると同時に鳴りやみます。



7 異常がないのに警報音が鳴ったり、ランプが点滅したときの処置のしかた

ガスもれやCO以外の空気の汚れて、赤（ガス警報）ランプや黄（CO警報）ランプが点滅したり、警報音が鳴ったときは

《警報音を止めたいとき》

警報停止スイッチを押すと、

- ガス警報の警報音は1回だけ5分間止めることができます。
- CO警報は、黄(CO警報)ランプが点滅しCO警報音が鳴っている場合のみ、警報音は1回だけ5分間止めることができます。

※警報器周囲のガスとCOが規定濃度以下になっていない場合、停止時間経過後に再び警報音を発します。

※外部機器と接続していて、かつ警報器周辺のガスとCOが規定濃度以下になっていない場合、停止時間経過後に再び運動します。

※警報音停止中に警報停止スイッチを押しても、音声鳴動はしません。

1 ドアや窓を開け、しばらく換気続けてください。

2 警報器周囲のガスが規定濃度以下になると、ランプの点滅や警報音が止まります。

警報音が鳴ったり、ランプが点滅した原因について

以下の原因が考えられますので、調べてください。

- スプレー式殺虫剤やアスプレーなどを、警報器にかけていませんか。
- タバコの煙を警報器に吹きかけていませんか。
- 芳香剤などの濃いガスが警報器にかかっていますか。
- 線香の煙が警報器にかかっていますか。
- 溶剤、シンナー、ベンジンなどを大量に使用していませんか。
- アルコール類やくん煙式、くん蒸式の殺虫剤が高濃度になっていませんか。
- フロアリングのワックス、溶剤を含む接着剤を使用していませんか。
- 長時間、部屋を閉め切っていますか。
- 焼き魚の煙などが警報器にかかっていますか。
- みりんや酢などの調味料成分を含んだ蒸気が、警報器に大量にかかっていますか。
- 可燃性のガスなどを使用していませんか。
- 警報器の通常の電圧範囲はAC100V±10Vです。それ以外で使用していませんか。

以下の場合も、ガスもれやCOで警報しており誤報ではありません。

- 換気が十分でない状態で、湯沸かし器を使用した場合。
- ガスコンロの着火ミスがあった場合。
- 自動車の排気ガスが室内にこもった場合。
- 炭火や炭灰を使用した場合。

ランプ表示・音声出力の事象一覧表

ランプ表示・音声出力の事象一覧表

ランプ			音声内容	事 象
緑 (緑点滅)	黄 (黄点滅)	赤 (ガス警報)		
●	○	○	なし	通常動作(監視中)
●	○	○	なし	ガス注意報
●	○	●	ガス警報音声「ウーウー ビッポビッポッ」 ガスがもれていませんか」	ガス警報
●	○	○	なし	CO注意報
●	または ●	○	CO警報音声「ウーウー ビッポビッポッ」 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください」	CO警報
●	○	○	なし	ガス注意報とCO注意報
●	○	●	ガス警報音声「ウーウー ビッポビッポッ」 ガスがもれていませんか」	ガス警報とCO注意報
●	○	○	CO警報音声「ウーウー ビッポビッポッ」 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください」	CO警報とガス注意報
●	または ●	○	ガス警報音声「ウーウー ビッポビッポッ」 ガスがもれていませんか」と CO警報音声「ウーウー ビッポビッポッ」 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してくださいの交互音声	ガス警報とCO警報
高速 点滅	○	○	故障警報音声 はじめに「故障です 販売店に連絡してください」と鳴り、1分ごとに「ビッポビッポッ」、10分ごとに「故障です 販売店に連絡してください」を繰り返す	故障警報 (警報器が故障診断機能により故障と判断した状態)
ゆくり 点滅	○	○	有効期限切れ音声 「ピッ」有効期限が切れています 販売店に連絡してください」 ※警報停止スイッチを押した場合	有効期限切れ (警報器の有効期限が半年以上過ぎた場合)

●：点灯、○：点滅、○：消灯

※故障したときは、上記以外の表示音声を発する場合があります。この場合、取扱店にご連絡ください。

- ブザー音設定の場合
ガス警報音：ウーウー ビッポビッポッ
CO警報音：ウーウー ビッポビッポッ
故障警報音：ビッポビッ
- 英語音声設定の場合
ガス警報音：ウーウー Danger Gas Danger Gas
CO警報音：ウーウー ビッポビッポッ
故障警報音：Danger Carbon monoxide Danger Carbon monoxide
- 中国語音声設定の場合
ガス警報音：ウーウー ビッポビッポッ
煤氣泄漏 危險 煤氣泄漏 危險
CO警報音：ウーウー ビッポビッポッ
一氧化碳 危險 一氧化碳 危險

お手入れのしかた

1 電源プラグをコンセントから抜いてください。

《お断わり》
外部機器（インターホンなどの集中監視機器）と接続しているときは、警報器の電源プラグを抜くと、外部機器の警報音（故障表示）が鳴ることがあります。

2 警報器を取り外してください。（P.8参照）

3 警報器および取付部付近の壁面の汚れをふき取ってください。

- 警報器表面・壁面
布に水または石けん水を浸し、よく絞ってからふき取ってください。
- 電源プラグ
乾いた布でふき取ってください。

おねがい

- お手入れするときは、警報器の内部に水が入らないように注意してください。
- お手入れするときは、中性洗剤、アルカリ性洗剤、塩素系漂白剤、ベンジン、シンナー、アルコールは使わないでください。
アルカリ性洗剤などを使用と、警報器本体の表面に傷がついたり、しばらく赤（ガス警報）ランプが点滅したり、警報音が鳴りやまないことがあります。

4 警報器を取り付けてください。（P.8参照）

5 電源プラグをコンセントに差し込んでください。

《警報器の動作》

- 電源プラグをコンセントに差し込むと、警報器の電源が入ります。
緑（電源）ランプが点滅し、約30秒後ランプが全点灯した後消灯し、正常であれば「正常です」と鳴って緑（電源）ランプが点灯に変わり、警報器は監視状態に入ります。
- 故障の場合は「故障です 販売店に連絡してください」と鳴りますので、取扱店にご連絡ください。有効期限が過ぎている場合は「有効期限が切れています 販売店に連絡してください」と鳴ります。

電源プラグを差し込む	差し込みから約30秒後	【監視状態】
緑（電源）ランプ点滅 黄（CO警報）赤（ガス警報）ランプ消灯	緑（電源）ランプ点灯 黄（CO警報）赤（ガス警報）ランプ点灯	緑（電源）ランプ点灯 黄（CO警報）赤（ガス警報）ランプ消灯
		正常です

《過去約10日以内に警報が作動した場合》
電源を入れてから約30秒後ランプが全点灯した後に、最後に作動した警報の原因に伴ったランプが、約1秒間点灯します。（鳴動原因表示機能によるものです。）

警報器の取り外し・取り付けかた

《取り外しかた》

1 電源コードをコード振れ止めから取り外してください。

コード振れ止め

2 本体を持ち上げて取り外してください。

取付フック

既存の取付板からの取り外しかた

既存の取付板への取り付けかた

2 電源コードをコード振れ止めに取り付けてください。

警報器が確実に固定されていることを確認してください。

コードはめ込む

電源コード

電源プラグを抜かないでください。

電源プラグを抜き、警報器をポリ袋で覆わずに噴霧式殺虫剤を使用すると、噴霧後に再び電源プラグを差し込んだときに警報音が鳴ることがあります。また、外部機器（インターホンなどの集中監視機器）と接続しているときは、警報器の電源プラグを抜くと、外部機器で警報音（故障表示）が鳴ることがあります。

△注意

ポリ袋の取り付け・取り外しや警報器の壁面からの取り外し・取り付けは、高いところでの作業になりますので、しっかりと踏み台を使って、十分に注意して行ってください。
転落、転倒、落下の原因になります。

1.警報器をポリ袋で覆ってください

警報器を取り付けている部屋で噴霧式殺虫剤を使用するときは、警報器が噴射動作に反応して警報音が鳴る恐れがありますので、必ず警報器に以下の処置をしてください。

警報器を壁面から取り外して安定した場所に置けるとき

《準備するもの》

- ポリ袋（30cm×40cm・1枚）
ポリプロピレン製（または>PP<表示）
※ポリエチレン製でも一定の効果があります。
- ひも（1本）
- 粘着テープ

《処置のしかた》

①警報器を取り外してください。（P.8参照）

②警報器にポリ袋を被せ、袋の口を電源コードの上からひもで縛ってください。

③ポリ袋と電源コードの間に隙間ができないように、ポリ袋の開口部分に粘着テープを巻き付けてください。

④ポリ袋を傷めないように、警報器を安定するところに置いてください。

警報器を壁面から取り外して安定した場所に置けないとき

《準備するもの》

- ポリ袋（30cm×40cm・1枚）
ポリプロピレン製（または>PP<表示）
※ポリエチレン製でも一定の効果があります。
- 輪ゴム（3本）
- 粘着テープ
養生テープやメンディングテープなど、接着しやすく、またはがすときに壁面を傷めないテープを選んでください。

《処置のしかた》

①ポリ袋を警報器の前面から覆い被せ、コード収納カバー部分を輪ゴム（3本）でしっかり止めてください。

②ポリ袋の端を粘着テープで壁面に貼り付けてください。

ポリ袋と壁面の間に隙間ができないように、粘着テープを貼ってください。特に、ポリ袋がしわになっている部分や電源コードが通っている部分に注意してください。

※壁面などの状況により、粘着テープでの貼り付けができない場合、①のみの処置でも一定の効果があります。

2.噴霧式殺虫剤を噴霧してください

以下のようなときは、ポリ袋で覆っていないも警報音が鳴ることがあります。
噴霧式殺虫剤を使用するときは、事前に住宅管理者やご近所の方に、連絡しておいてください。

- 部屋の広さに比べて、極端に大きな容量の噴霧式殺虫剤を使用したとき。
必ず、部屋の広さに応じた容量の噴霧式殺虫剤をご使用ください。
- 噴霧式殺虫剤を警報器の真下で使用したとき。
警報器の真下は避けてください。
- ポリ袋と壁面の間に隙間があったり、ポリ袋に破れや穴があるとき。
- 警報器をポリ袋で覆う前に、石油系溶剤やアルコール類などを使用したとき。
ガス検知部に影響を与える成分が封じ込められます。
- 経年変化によって、ガス検知部が敏感になっているとき。

3.ポリ袋を取り外してください

噴霧が終わったら、ポリ袋を外してください。
警報器を取り外した場合は、元の位置に取り付けてください。

おねがい

粘着テープを外すときは、壁面などを傷めないように慎重に行ってください。

定期点検

日常の点検

日常、警報器の緑（電源）ランプが点灯していることを確認してください。

※緑（電源）ランプが消灯もしくは高速点滅している場合は、取扱店に連絡してください。（P.10「故障かな？と思ったら」を参照ください。）

警報機能の点検

△警告

点検をするときは、必ず安定した台に乗って行ってください。
転倒してけがをする恐れがあります。

警報器は定期的に（1ヶ月に1度）以下の手順でスイッチを押して、正常に動作するか点検してください。

《点検のしかた》

- 警報停止スイッチを押すと「ピッ」と鳴り、緑（電源）ランプが点滅します。
- 警報停止スイッチを離すと、ランプが1秒間全点灯し、正常であれば「正常です」と鳴り、監視状態に（緑（電源）ランプ点灯）に戻ります。

《過去約10日以内に警報が作動した場合》

上記ランプが1秒間全点灯した後に最後に作動した警報の原因に伴ったランプが、約1秒間点灯します。（鳴動原因表示機能によるものです。）

外部機器との運動確認機能について

△警告

点検をするときは、必ず安定した台に乗って行ってください。
転倒してけがをする恐れがあります。

△注意

- 外部機器（マイコンメーター、集中監視盤、インターホン等）が作動しますので、運動確認機能は操作される場合はご注意ください。
- マイコンメーターが作動した場合は、所定の復帰操作を行ってください。その他の外部機器が作動した場合は、外部機器の復帰操作を確認していただき、復帰操作を行ってください。

《運動確認のしかた》

- 警報停止スイッチを押すと「ピッ」と鳴り、緑（電源）ランプが点滅を開始します。そのまま3秒間押し続けると、「ピッピッ」と開始音が鳴ります。
- 警報停止スイッチから手を離すと以下のように動作することを確認してください。（外部出力信号が1分間出力されます。有電圧は12Vと18Vが交互に出力されます。）

動作	音声内容	緑（電源）	黄（CO警報）	赤（ガス警報）	有電圧出力（12V・18V）
1	「ウーウービッポビッポッ」 ガスがもれていますか」	点滅	消灯	点灯	ON
2	「ウーウービッポビッポッ」 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください」	点滅	点灯	消灯	ON
3	無音	点滅	点灯	点灯	ON

③約1分後に「ピー」と終了音が鳴り、監視状態（緑（電源）ランプ点灯）に戻ります。

※1分以内に運動確認を終了したい場合は、警報停止スイッチを押すと「ピー」と鳴り、終了します。

緑（電源）ランプ点灯

ピー

故障かな？と思ったら

こんなときは	ここを確認して	こう処置してください
●緑（電源）ランプが消灯している。	電源プラグが抜けていませんか。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
●警報器が正常にもかわらず、外部機器が鳴る。	電源ブレーカーが切れていませんか。	ブレーカーを入れてください。
	停電していませんか。	停電でなければ、警報器の故障が考えられますので、取扱店に連絡してください。

緑（電源）ランプが高速点滅している。

●警報器の故障を知らせています。

●警報器の有効期限切れを知らせています。警報停止スイッチを1秒間押してください。

●「ピッ 有効期限が切れています 販売店に連絡してください」
と鳴りますので、新しい警報器に交換（有償）してください。（有効期限切れ音声機能）

原因を調べてください。（P.7参照）

●ガス機器の異常が考えられます。

●ガス機器以外の燃焼機器の異常が考えられます。

●10日以内に警報を発していませんか。

●鳴動原因表示機能によるもので、故障ではありません。（P.4参照）

●有効期限が切れていれば、取扱店に連絡してください。（P.3参照）

廃棄について

●リース品の場合

有効期限の過ぎた警報器は、取扱店にて回収いたします。

●お買い上げ品の場合

一般の可燃ごみとして廃棄できますが、廃棄方法は各自治体の指示に従ってください。

仕様

項 目	仕 様
対 象	ガ ス 都市ガス（空気より軽い12A・13Aガス用） 燃焼排ガス中のCO
検 知 方 式	半導体式
ガ ス 報 告	動作条件 ※爆発下限界濃度の1/4の都市ガスに対し60秒以内に警報 表 示 ・ 発報方式 赤（ガス警報）ランプ点灯 音声合成警報音
ガ ス 注 意 報	動作条件 ガス警報濃度以下の都市ガスに対し注意報 表 示 ・ 発報方式 赤（ガス警報）ランプ点滅 発報音無し
燃 焼 排 ガ ス 中 の CO 警 報 機 能	CO 警報 動作条件 550ppmのCOに対し 5分以内に警報 300ppmのCOに対し 10分以内に警報 表 示 ・ 発報方式 黄（CO警報）ランプ点灯または点滅 音声合成警報音
CO 注 意 報	動作条件 300ppmのCOに対し 5分以内に注意報 表 示 ・ 発報方式 黄（CO警報）ランプ点滅 発報音無し
外 部 出 力 信 号 *	有電圧出力 3段階有電圧2線式 （監視時 DC6V、電源 OFF時・故障診断時 OV、 ガス警報時 DC12V、CO 警報時 DC18V、
一般財団法人 日本ガス機器検査協会（J I A）都市ガス用ガス警報器検査規程 認証合格品	
警 報 音 量	70dB(A)/m以上
電 源	AC100V±10V 50/60Hz
消 費 電 力	監視時 約1.1W、警報時 約1.8W
共 通 仕 様	付 属 機 能 通電初期警報防止タイマー付、故障診断機能、有効期限お知らせ機能
使 用 温 度 範 囲	0℃～+50℃（結露しないこと）
寸 法 ・ 質 量	幅85×高さ125×奥行32.5mm（突起部を除く）、 約250g
電 源 コー ド	長さ 2.5m（約2.2mは警報器背面に巻取可能） 予備コンセント付プラグ （予備コンセントに接続できる電気製品は、1.490W以下）
付 属 品	コード振れ止め×3、木ねじ（φ3.1×10mm）×3、 木ねじ（φ3.1×16mm）×2、取付フック×1、 ピン（φ1×20mm）×10、取付板×1、 取扱説明書（本書）×1、施工説明書×1、リースシール×1

☆ 爆発は空気とガスの混合割合が一定範囲で起こる可能性があります。その範囲を爆発限界といつて、最高濃度を爆発上限、最低濃度を爆発下限といいます。

★ マイコンメーターと接続して使用する場合は、警報器アダプターが必要になります。

アフターサービスについて

■この警報器は、5年間の無償保証です。
この取扱説明書に書かれている内容を守っていただいた上で、警報器が正しく作動しないことが判明した場合には、無償でお取り替えいたします。
ただし、保証書に記載されている保証の適用除外の項目に該当する場合は、この限りではありません。保証書をご参照ください。

■保証書に取り付け年月および取扱店名の記入のないものは、無効となる場合があります。
お取り付け時にご確認ください。

■この警報器の有効期限は、お取り付け後5年間です。
有効期限とは警報器の性能を保証できる期間であり、5年を経過した警報器は、規定の警報ガス濃度で警報をしないなど誤作動の恐れがありますので、ぜひ新しい警報器とお取り替えください。

■保証書は大切に保管してください。

■アフターサービスについて、ご不明の点がありましたら、取扱店または東邦ガス修理受付ダイヤルまでご連絡ください。

■警報器の有効期限を過ぎたときは、取扱店または東邦ガス修理受付ダイヤルまでご連絡ください。

■作動点検をご希望の場合には、有償にて点検いたします。取扱店または東邦ガス修理受付ダイヤルまでご連絡ください。

■引越しをされるときは、取扱店またはお近くの東邦ガスへご連絡ください。

■他の地区に引越されたときは、お近くのガス事業者に連絡を取り、ガス種に適合していることを確認してください。

《お断わり》

有効期限は、保証書記載の年月よりも、警報器本体に貼ってある有効期限ラベルに記載の年月が優先されますので、有効期限ラベルの年月を確認してください。

	東邦ガス 修理受付ダイヤル	電話受付時間
ガス機器修理等の お申し込みは	0570-070456 ※IP電話をご利用の方は、お近くの東邦ガスへおかけください。	24 時間 365 日、 修理等の訪問予約 を承ります